



① 大甲区公所玄関
(2/26)

大甲区の人口は約 8 万人。台中市街地の北方約 30km に位置する。

当日は、10 余人の公所職員が玄関で出迎えてくれた。



② 大甲区公所応接室
(2/26)

澤田寛旨団長の挨拶、劉來旺大甲区長の挨拶の後、双方の参列者の紹介、配布資料の説明、アニメーションビデオの放映等があった。



③ 大甲区公所ロビー
(2/26)

訪問団と大甲区公所幹部職員

大甲区公所幹部職員には女性が多く登用されていた。

一連の行事にほかに 10 人ほどの職員が協力してくれた。



④ 志賀先生墓前祭
(2/27)

潮井水源の水を供え、澤田寛旨団長が祭文を奉読し、白濱裕副団長が和歌を朗詠。

この後、大甲区公所で用意してくれた日本酒（志賀先生がお好きであられたから、との説明があった）と花を供え、全員で線香を手向けた。



⑤ 島村ソデ様墓前祭
(2/27)

志賀先生墓前祭に準じて催行。

廣瀬勝代表が祭文を奉読した後、劉來旺大甲区長が祭文の中国語訳文を奉読。

（中国語訳文は彌富照皇さんによる翻訳文）



⑥ 大甲国民中学
(2/27)

水源路（自裁の地）、鎮瀾宮（志賀先生がよく通われた寺）、文昌祠、大甲国民小学、大甲国民中学を巡訪。

大甲国民中学では、中学生の交換ホームステイ計画について区長と相談した。



⑦ 歓迎昼食会

(2/27)

前夜は元駐日大使・許世楷氏と訪問団との夕食会があったため、大甲区公所ではこの日、昼食会を催してくれた。



⑧ 烏山頭ダム

(2/27)

近くに工事の犠牲者の慰霊碑があった。

八田與一は、犠牲者を記名するに際し、日本人と台湾人を差別しないよう指示したという。

八田の銅像は、皆が当時良く見かけたという、作業服姿のくつろいだポーズが採用されていた。



⑨ 湯徳章記念公園

(2/28)

台南市の中心にある。湯（坂井）徳章は2・28事件のとき、台南市の本省人有力者達を庇い、自分一人が矢面に立ち、犠牲となって死んだ。

台南市の恩人として顕彰されている。

この後、飛虎將軍廟に参拝した。

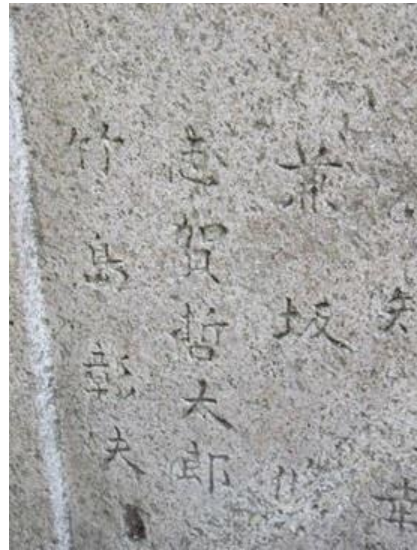


⑩ 芝山巖

学務官僚遭難之碑

(2/29)

明治 28 年からの日本の教育は全国から選抜された 6 人の教師（六氏先生）によって開始されたが、翌年、全員が匪賊の襲撃により非命に斃れた。しかし、その精神が淵源となり、台湾の教育は驚異的に進展した。慰霊碑は伊藤博文の揮毫による。



⑪ 芝山巖

教育者墓碑

(2/29)

六氏先生の後塵を拝して台湾の教育に命を捧げた多くの日本人教師が、台湾教育の聖地・芝山巖に祀られている。志賀哲太郎の名前も墓碑に刻まれていた。



⑫ 芝山巖

六氏先生の墓

(2/29)

芝山巖山頂にある六氏先生の墓。楢取道明（山口県 38 歳、吉田松陰の妹・寿と楢取素彦の次男）、関口長太郎（愛知県 37 歳）、中島長吉（群馬県 25 歳）、桂金太郎（東京都 27 歳）、井原順之助（山口県 23 歳）、平井数馬（熊本県 17 歳）